

山行報告書

神戸勤労者山岳会

- 1 参加者 CL 西、SL 大川 井谷、大石 以上 4 名
- 2 山城・ルート 経ヶ岳（保月山から杓子岳コース）ピストン
- 3 交通手段 電車 車 バス

4 行動記録

入山日 2017 年 2 月 18 日 山中 1 泊

2 月 17 日（金）20:30 大川出発→20:45 西邸→大石邸 21:15 大石さん、井谷さんピックアップ
→12:30 道の駅（仮眠）

2 月 18 日（土）5:30 起床→7:25 六呂師高原スキー場（経ヶ岳登山口）出発→保月山
→12:00 杓子岳周辺（テント設営）→経ヶ岳ピーク 14:25→15:00 テント場

2 月 19 日（日）5:00 起床→7:15 杓子岳出発→9:19 核心部→11:30 六呂師高原スキー場

a 山行は予定の内容・日程で行動出来たか

雪の状態がよく、1 日目、杓子岳周辺に予定より早く到着したので、テント設営後予定を早め頂上ピストンを行った。

b 事故に繋がりそうな要因（ヒヤリハット）が発生したか 発生した場合は具体的に記す

特になし。

C 感想

念願の経ヶ岳に 4 度目でやっと登頂できた。感動です！
今回は、雪の状態が非常によく、歩きやすかった。3 人はスノーシューだったが、R さんはひとり「わかん」でチャレンジ。サクッと歩いていた。

保月山、牛岩を越えたあたりが核心部。立木を支点に懸垂下降を行った。その後、下降地点から稜線に登り返す。（懸垂下降せず、スノーバーなどで支点構築し稜線を突破したパーティーもいた。）

杓子岳周辺は整地する必要がないくらい平らな雪原が広がっている。しかし、翌日はすごい強風でテントが風に叩かれ、私と T さんはまっすぐ座ってられない状態であった。そのため出発時間も遅らせた。

冬山例会として企画したが、ピークハントするには雪の状態に恵まれていることや、アイゼン歩行、ロープワークなどの技術も問われ、事前トレーニングが必要であると痛感した。

また、去年 5 月の劔岳遭難で R さんのザックを回収し、登山道にあげてくださり、貴重品を警察に届けてくださった方と、偶然お会いした。お一人で経ヶ岳に行かれるとのこと。遭難した 4 人のうち 3 人が

今回の山行に参加しており、運命的な出会いに感動！！お礼を言えたこともうれしかった。

今回仮眠した道の駅は、新しくできたところで、トイレや休憩室など充実していた。

また、帰りに寄った「トロン温浴施設うらら館」は偶然無料サービスを行っており、無料で温泉に入れた。(ぼかぼかになりました。)

経ヶ岳は、入山する人の少ない山で静かな雪山を楽しめるとても素敵な山だ。頂上からは白山や別山 北側の赤兎山へと尾根が延び、すばらしいロケーションが広がる。今回4人のメンバーで雪山を楽しめたことに感謝します。同行してくださった大川さん、井谷さん、大石さんありがとうございます。

報告者氏名 西

平成 29 年 3 月 4 日



経ヶ岳頂上で



経ヶ岳頂上へ向け歩く



懸垂下降支点作り



雪原を歩く